

ふれあいコミュニティ長尾
【長尾地区まちづくり計画】

☆次世代に誇れる快適な環境のまち・長尾☆



〔長尾の集い（ミニミニ運動会）平成16年11月3日　於：山本新池公園〕



平成16年12月

長尾地区まちづくり協議会



・あいあいパーク



・中筋山手のしだれ桜

もくじ

1.はじめに	1
1) 長尾地区まちづくり計画検討委員会委員名簿	2
2) まちづくり計画検討委員会の経過概要	2
3) まちづくり計画検討各部会の経過概要	3
(1) 福祉部会	3
(2) 花・緑・環境部会	4
(3) 文化・健康部会	4
(4) 青少年・人権部会	4
2.長尾地区まちづくり計画	5
1) まちづくりの基本目標・方針	5
2) まちの整備・誘導・活動計画	7
3) 計画の推進方策	8
4) 施策別実行プログラム	9
3.まとめ	11
4.参考資料	
1) 住民アンケート調査結果の概要	13
2) アンケート調査における自由意見の要約	15
3) 長尾地区住民まちづくり活動の軌跡	18



・長尾山系山火事防止啓発看板

1. はじめに

長尾地区まちづくり計画は、ふれあいコミュニティ長尾地区（3小学校区◇約 13,600 世帯）を対象とした、広大な長尾地区のまちづくり計画です。

長尾地区まちづくり計画を策定するにあたり、宝塚市第4次総合計画のまちづくりの基本目標である、

1. 安全で快適なまちづくり
2. 健康で安心して暮らせるまちづくり
3. 人にあたたかく、豊かな心をはぐくむまちづくり
4. いきいきと活力のあるまちづくり
5. 花や緑があふれ、自然と共生する庭園のまちづくり
6. ふれあいと協働のまちづくり

に沿い、長尾地区のまちづくりをどのように計画し、実現していくか、豊かで住みよいまちとはどのようなあってほしいのか、私たち自身で考え、話しあって作りあげていこう、と平成14年・秋に長尾地区まちづくり計画検討委員会を立ち上げ、平成15年4月12日の第1回検討委員会をもって本格的に取組みを始めました。

具体的には、◇福祉部会◇花・緑・環境部会◇文化・健康部会◇青少年・人権部会の4部会による意見交換・検討を中心に、コミュニティ長尾地区住民のアンケート調査の協力を得て、計画案の作成と住民への周知・合意形成に取組みました。

まちの整備・誘導・活動計画の施策別実行プログラムの検討にあたって、当初は、短期・中期・長期といった区分も検討しましたが、地区の住民の思いとしては、どの施策もが短期的に早く取組みたい、実現したいことであることから、この判断は行政に委ねることとし、私達としては住民アンケートの調査結果を住民の関心度・期待度として記し、住民、行政及び両者の協働といった役割分担を明記することにより、実施に向けてのプログラムを示すこととしました。

なお、当まちづくり協議会としましては、平成8年7月に発足して以来9年間の取組み実績があり、これらの活動の積み重ねが、今回提案するまちづくり計画の基礎となっており、4. 参考資料に「長尾地区住民まちづくり活動の軌跡」として掲載しておりますのでご参照下さい。

最後になりましたが、この計画策定にご協力いただきました長尾地区の皆様方、特に、第5地区自治会連合会による《アンケート調査》が引き金となって、スムーズに運ぶことができましたことに感謝申し上げます。加えて、今後ともご指導ご鞭撻をいただくと共に、実施の際のご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

平成16年12月

長尾地区まちづくり協議会 会長 尾崎 外憲
長尾地区まちづくり計画検討委員会 委員長 山中 俊一

1) 長尾地区まちづくり計画検討委員会委員名簿

会長	尾崎 外憲		
計画検討委員長	中山 俊一		
副会長	稻野 廣	山本地区委員長	阪上 彰
同上	阪上 功	中山寺地区委員長	牧山 清徳
同上	阪上 新一	平井地区委員長	尾仲 博道
福祉部会長	立川 ふみよ	長尾小学校区委員長	高井 美智子
花・緑・環境部会長	金岡 静夫	長尾南小学校区委員長	沼田 信夫
文化・健康部会長	酒井 美重子	丸橋小学校区委員長	岡田 行雄
青少年・人権部会長	奥山 笑美子	宝塚市広聴相談課長	吉良 章二
事務局広報部長	田中 茂生	ジーユー計画研究所	後藤 祐介
		同上	小西 理

2) まちづくり計画検討委員会の経過概要

検討委員会	年・月・日	概要
第1回	H15.4.12	・委員の顔合わせと自由意見交換。
第2回	H15.6.28	・まちづくり計画推進期間並びに今後のスケジュールの検討。
第3回	H15.9.6	・各部会によるフリートークング及びコンサルタントの導入計画の検討。
第4回	H15.9.30	・(株)ジーユー計画研究所のコンサルタント派遣の採用決定、各部会への参加日程を調整。
第5回	H15.11.5	・各部会の討議終了、集約検討。
第6回	H15.12.4	・各部会でとらえた「現状と課題」の決定事項発表。 イ) 検討委員の取組み作業の検討。 ロ) アンケート調査実施に伴うところの、約13,600世帯対象を、どのように対処するか。
第7回	H16.1.22	・まちづくり計画検討委員会の構成委員7名を16名の構成委員とすることを決定。 ・アンケート調査(案)ができ、再度見直し、配布と回収についての検討。
第8回	H16.2.9	・アンケートに関連する文面の修正。 ・配布・回収については、第5地区自治会連合会の支援をうけ、自治会員約8,000世帯を対象に実施することに決定。 ・2月22日(日)自治会連合会自治会長会の席上で依頼することとした。

第 9 回	H16.2.26	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに関する文面の検討と第 5 地区自治会連合会での了承を得たことの報告と会長交代の時期でもあるので、定例総会時に再度の承諾を得ることとした。
第 10 回	H16.3.26	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査票（封筒を含む）を 4 月 20 日までに予備を含んだ 1 万部印刷完了を目指す事の確認をとる。 ・5 月 1 日～15 日配布完了、5 月 25 日～6 月 10 日頃までに回収することとした。
第 11 回	H16.7.27	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査票集計及び分析、地区のまちづくりの目標や将来像並びにその実現に向けた方針のまとめ。
第 12 回	H16.9.2	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査票集計及び分析の大要。 ・調査票分析を元として、具体的な取組みと事業計画。
第 13 回	H16.10.7	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり計画のタタキ台に従っての調整検討。 ・スケジュールと役割分担の検討。 ・まちづくり計画（案）のまとめ及び今後の進め方。
第 14 回	H16.11.5	<ul style="list-style-type: none"> ・最終のまちづくり計画の内容、構成方針の検討。
第 15 回	H16.11.29	<ul style="list-style-type: none"> ・12 月提出に向けてのまちづくり計画のまとめ及び製本について。

3) まちづくり計画検討各部会の経過概要

(1) 福祉部会（部会員 51 名）

部 会	年・月・日	概 要
第 1 回	H15.6.26	<ul style="list-style-type: none"> ・宝塚市まちづくり推進室の谷本室長より地域ごとのまちづくり計画の進め方、目的等の説明を受ける。 (参加 32 名)
第 2 回	H15.7.17	<ul style="list-style-type: none"> ・140 人委員会による地域福祉計画書を検討資料とした。 ・通学路、児童のマナー、中学校の現状など問題点を取り上げた。 (参加 19 名)
第 3 回	H15.8.26	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅周辺の危険箇所及び地域づくり基本方針「花と緑にあふれたまちづくり」について検討。 (参加 16 名)
第 4 回	H15.9.22	<ul style="list-style-type: none"> ・「優しさと思いやりのあるまちづくり」についてワークショップを実施。 (参加 20 名)
第 5 回	H15.10.27	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康づくりで心がかようまちづくり」について提案し、意見を聞く。 (参加 20 名)
第 6 回	H15.11.17	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルタントがまとめた意見の集約説明を受け、再度、確認・検討・追加意見をまとめる。 (参加 13 名)

(2) 花・緑・環境部会（部会員 76 名）

部 会	年・月・日	概 要
第 1 回	H15.6.8	・まちづくりの進め方についての意見交換。 (参加 15 名)
第 2 回	H15.9.14	・部会員の関心を深めるためのアンケートの実施。 (参加 20 名)
第 3 回	H15.10.1	・アンケート実施の概要のまとめ。 (参加 23 名) ◇まちづくり計画に対する総論 ◇あいあいパーク新池公園関係 ◇公園や広場の関係 ◇環境関係 ◇駐車・駐輪の関係 ◇道路交通関係 ◇ボランティア活動
第 4 回	H15.11.28	・これまで出た意見に対してどう具体的に対処するかを検討。 (参加 21 名)

(3) 文化・健康部会（部会員 25 名）

部 会	年・月・日	概 要
第 1 回	H15.6.7	・まちづくりの計画の目的、計画等の説明をどのようにして検討会を進めるかについて意見交換。 (参加 14 名)
第 2 回	H15.7.5	・天神川の堤防、巡礼街道散策後、まちづくり計画についての話し合い。 (参加 11 名)
第 3 回	H15.7.17	・巡礼街道・回遊散策路の充実、小学校の新設、老人会と子供達の交流の場設置について。 ・山本野里 3 丁目リューゼツランの植栽整備と保存について。 ・地域での健康づくり教室の充実について。 (参加 8 名)
第 4 回	H15.10.4	・スポーツ公園の設置。東公民館駐車場が狭いので、JR 高架下を利用しての駐車場設置について。 (参加 12 名)
第 5 回	H15.11.21	・今までのまとめで、アンケートを実施。部員 25 名に配布 17 名回収、内容についてのまとめを終わる。 (参加 11 名)

(4) 青少年・人権部会（部会員 13 名）

部 会	年・月・日	概 要
第 1 回	H15.6.14	・現状と課題にどう取組むかの意見交換。 (参加 8 名)
第 2 回	H15.7.4	・現状課題の話し合い。 (参加 13 名)
第 3 回	H15.9.13	・現状課題の話し合い。 (参加 13 名)
第 4 回	H15.10.18	・今までに出た意見の集約と追加意見の集約。 (参加 6 名)
第 5 回	H15.11.26	・追加項目を含めて再度話し合いの場をもつ。 (参加 8 名)

2. 長尾地区まちづくり計画

1) まちづくりの基本目標・方針

当地区まちづくりの基本目標としては、自然環境や交通条件に恵まれた郊外の田園地帯に位置すること、また、歴史街道や植木産業等の長尾地区の特性を生かした**“次世代に誇れる快適な環境のまち・長尾”**を目指すこととします。

この基本目標を実現するため、「自然」：山や川を大切にし、自然と共生するまち、「都市」：安全、安心、便利で快適環境のあるまち、「ひと」：人にやさしいコミュニティのあるまち、「歴史」：地区の歴史や文化をはぐくむまち「産業」：伝統的植木産業を継承するまち、の5点をまちづくりの基本方針とします。

地区の特性

- ◎ 田園地帯の中に郊外住宅地として市街地が形成され、発展したまち
- ◎ 地形、土地利用の3層構成のまち：南斜面丘陵地、平坦部農地、鉄道を中心とした中間地帯
- ◎ 歴史街道、植木産業が特徴のまち

宝塚市上位計画方針

- 植木産業を活かしたまち
- 緑と歴史がいきづくまち
- 快適な都市生活をつくるまち

まちづくりの基本目標

☆ 次世代に誇れる快適な環境のまち・長尾

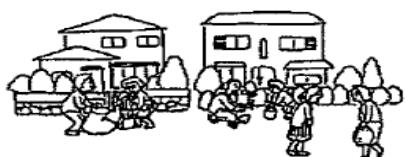
＜まちづくりの基本方針＞

「自然」	「都市」	「ひと」	「歴史」	「産業」
山や川を大切にし、自然と共生するまち	安全、安心、便利で快適環境のあるまち	人にやさしいコミュニティのあるまち	地区的歴史や文化をはぐくむまち	伝統的植木産業を継承するまち
長尾連山を背景とする自然環境に恵まれた立地条件、天神川や最明寺川等の河川を大切にするとともに、自然と郊外住宅地の共生に努める。	環境良好な田園都市であった地区において、近年の住環境の変化に対する懸念の為、住環境の劣化を抑制し、快適環境のあるまちづくりに努める。	少子高齢化、非行の低年齢化、多様化傾向に対応し、地区全体で子供や高齢者への声かけ、見守りを行う等、人にやさしいふれあいのあるまちづくりに努める。	地区の生い立ちや街道、古墳群等の歴史的遺産を生かし、大げにするとともに、今に残る社寺等の文化遺産の保全・顕彰に努める。	植木、花き園芸の日本三大産地の一つとしての伝統的植木産業を農地等の田園環境とともに保全・整備・継承に努める。

■参考：4部会の主な意見

福祉部会

- ① 危険な通学路等に信号機の設置（中筋山手4丁目、丸橋小付近等）
- ② 安全・安心のまちづくりを（明るい夜道、バスの増便、マイクロバスの運行、バリアフリー化等）
- ③ 子供会と大人、老人会等の連携
- ④ 地域で子供、高齢者への挨拶、声掛け、見守り等をする組織の立ち上げ
- ⑤ 犬の糞・尿・毛、公園のトイレや、家庭内ゴミの投棄等マナーの啓発運動を
- ⑥ ラジオ体操、散策、ウォーキングを実施し、地区の見回りをする。



花・緑・環境部会

- ① 地区全体の緑化促進、大樹等の保全・整備
- ② あいあいパークに木陰、犬の散歩道（人と犬の分離）、自転車道等の整備
- ③ 球技が出来るスポーツ公園、ミニ公園の整備
- ④ 宝塚チエリーの植栽の普及
- ⑤ 山本駅南側駐輪場の立体化、地下通路の整備
- ⑥ 細街路の整備（特に、平井～満願寺）
- ⑦ 街道沿いに案内板、寺社の説明板の設置
- ⑧ 休耕田の有効活用



文化・健康部会

- ① 巡礼街道の拡幅、休憩所（ベンチ）の設置
- ② 古墳群の整備・保全、アクセス、周辺の整備及び顕彰
- ③ 天神川、最明寺川、天王寺川等堤防の散策路、清流等の整備
- ④ 体育館の設置（雨天時にも利用可）
- ⑤ 細街路沿いの水路に蓋をして安全化を
- ⑥ J R、中国道の高架下利用（駐車場 等）
- ⑦ 小学校の新設による学校区の再編
- ⑧ 小学校の教室の開放（土・日曜等）、体育館、図書館等施設の活用
- ⑨ 地区内から長尾連山が望めるようマンションの高さ規制



青少年・人権部会

- ① 宅地開発（特にマンション）、道路・公園等の計画的整備を
- ② ゴミ・落葉で汚い河川・排水溝・空地・畑や、張紙・看板のある電柱等の清掃の強化・組織の拡充
- ③ 不法駐車、迷惑駐輪の対策
- ④ かけこみアトム 110 番の見直し、再編が必要
- ⑤ 青少年の健全な育成。特に、小・中・高校生の非行防止
- ⑥ 電線・街灯に抵触する街路樹、道にはみ出す植木の整備
- ⑦ まちづくり活動組織の統合・1本化



2) まちの整備・誘導・活動計画

- ・ 5点のまちづくりの基本方針を実行、実現するためのまちの整備・誘導・活動計画としては4部会の意見を反映し、以下のとおりとします。

(1) 「自然」：山や川を大切にし、自然と共生するまち

- ゴミ等で汚い河川・排水溝・空地等の清掃と活動組織の立上げ
- 天神川、最明寺川等の堤防、散策路等の整備及び水質浄化
- 地区全体の緑化促進、大樹の保全
- あいあいパークに木陰、犬の散歩道、自転車道、市民花壇等の整備

(2) 「都市」：安全、安心、便利で快適環境のあるまち

- 細街路の整備、通学路に信号機の設置、バリアフリー化等、安全・安心のまちづくりの計画的な整備
- 宅地開発、道路・公園等の計画的な整備
- 長尾連山の眺めの妨げにならないよう、中高層マンションの高さ制限
- 電線等抵触する街路樹や道にはみ出す植木等の整備
- 球技が出来るスポーツ公園、ミニ公園、体育館、犬の運動公園等の整備
- 貼り紙、看板のある電柱等の清掃及び活動組織の拡充

(3) 「ひと」：人にやさしいコミュニティのあるまち

- 小・中・高校生の非行防止と、青少年の健全な育成
- 迷惑駐輪、犬の糞、家庭内ゴミの投棄等マナーの啓発運動の促進
- 子供や高齢者への声掛け、アトム 110 番の見直・再編等地区住民のふれあいの促進
- 散策・ウォーキングの実施と、地区の見回り等防犯対策の促進
- 土・日曜の小学校の教室開放、図書館等の施設の活用
- 小学校の新設による学校区の再編
- ラジオ体操、各自治会館等での健康教室の開催

(4) 「歴史」：地区の歴史や文化をはぐくむまち

- 巡礼街道の舗装、拡幅等の整備、休憩スポットやベンチの設置
- 街道沿いに案内板（トイレ等の表示）、寺社の説明板の設置
- 古墳群の整備・保全、アクセス道や周辺の整備、顕彰の促進
- 阪急中山駅周辺の門前町にふさわしいまち並みの整備

(5) 「産業」：伝統的植木産業を継承するまち

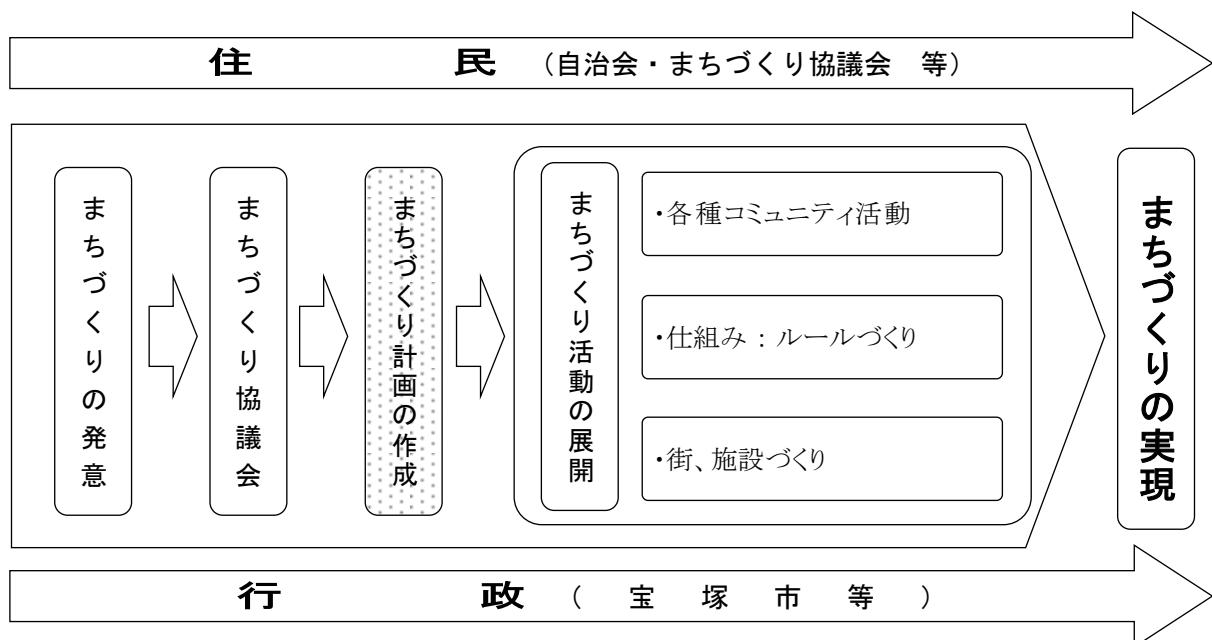
- 全国に誇る植木産業の保全・育成の促進
- 休耕田の花き園芸、植木苗床等への有効活用
- 植木のまちとしての“接ぎ木”的普及促進
- 宝塚チェリーの植栽の普及

3) 計画の推進方策

まちづくり計画の推進にあたっては、つぎのような方針とします。

(1) 住民と行政の協働のまちづくり

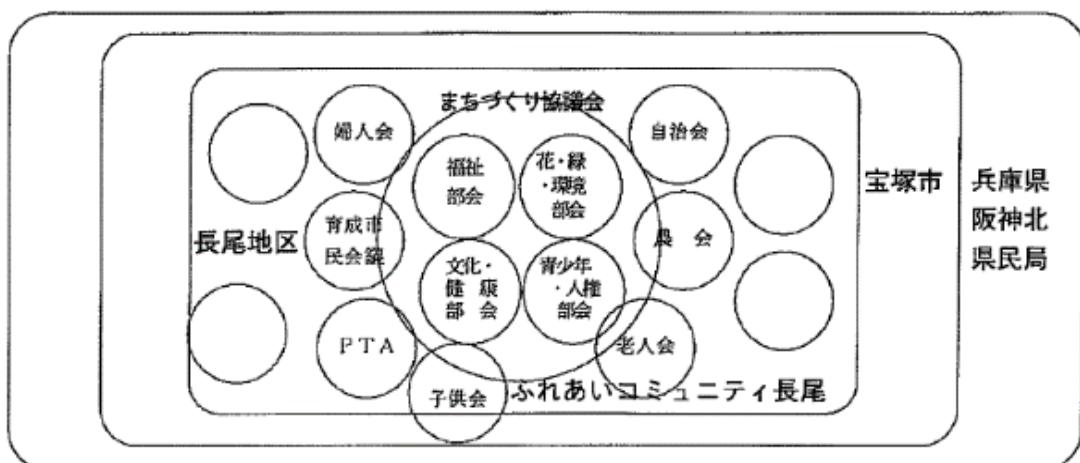
- ・まちづくり計画の実行、実現にあたっては、住民と行政が共に取組み、自治会やまちづくり協議会等と宝塚市等行政との信頼関係に基づく協働のまちづくりを基本とします。
- ・即ち、まちづくり活動としては、住民主体の各種コミュニティ活動を始め、行政による街、施設づくり、行政と住民の協働による仕組みづくり・ルールづくり等を展開していきます。



- ・策定したまちづくり計画を有効に生かすためには、住民と行政がまちづくり活動について、キメ細かい話し合い、協議を継続することが必要と考えます。

(2) 各種団体、組織との連携、交流、役割分担

- ・まちづくり計画の実行にあたっては、4部会で構成されるまちづくり協議会が単独で推進できるものではなく、自治会や婦人会、PTA、育成市民会議、老人会、子供会、農会等の各種団体・組織との連携、交流、役割分担を積極的に図ります。



4) 施策別実行プログラム

(1) 実行プログラム策定の方法

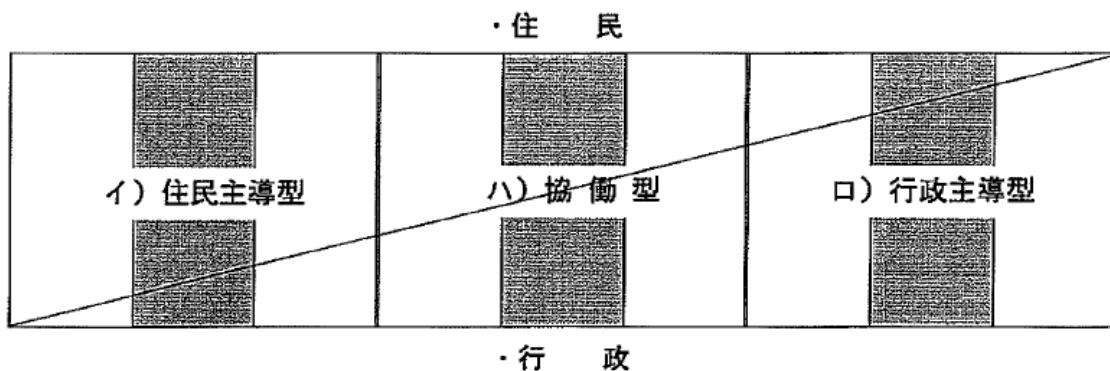
まちの整備・誘導・活動計画の施策別実行プログラムの策定にあたっては、主に誰が実施するのかの役割分担と、どのように進めるのかの推進プログラムにより指標化することとします。

① 役割分担の区分方法

- 各施策項目ごとの役割分担区分としては、次の3区分とします。

- イ) 住 民：まちづくり協議会（4専門部会）、自治会、婦人会等各種団体
- ロ) 行 政：宝塚市、兵庫県、国、公社、公団 等
- ハ) 協 働：イ) とロ) の協働

- まちづくりにおける各施策の役割分担の実態は、下図の概念図に示すように、住民と行政との協働の度合で把握できる面があり、ここでは、これを下図のように3等分しました。



② 推進プログラムの考え方

- 推進プログラムの策定にあたっては、当初は一般的な基準として短期、中期、長期の区分設定を検討しましたが、住民にとっては、全てが早期に取組みたい、実現したい、実現してほしいものばかりであり、この判断は行政に委ねることとしました。
- そのためここでは、まず、まちづくりの取組みの継続性に着目し、住民や行政により継続的に実施する必要がある項目とそうでない取組みを区分することとしました。

・継続的取組み

・継続的でない取組み

- 次に各施策項目のアンケート調査結果による得票数を住民の関心度・期待度を示す指標と考え、次のようにランク分けし、これを事業実施の参考値とすることとしました。

- ・A ランク：2,000票以上
- ・B ランク：1,500票～2,000票未満
- ・C ランク：1,000票～1,500票未満
- ・D ランク：1,000票未満

(2) 各種施策の実行プログラム表

	まちの整備・誘導計画の項目	役割分担			取組みの継続性	住民関心度 アンケート得票数
		住民等	協働	行政		
(1) 自然	①ゴミ等で汚い河川の清掃と組織の立ち上げ		○		継続実施	A 2,535
	②天神川等の堤防、散策路の整備と水質浄化			○	-	B 1,651
	③地区全体の緑化促進、大樹の保全		○		継続実施	B 1,544
	④あいあいパークの木陰、自転車道等の整備			○	-	D 884
(2) 都市	①道路のバリアフリー化等安全のまちづくり			○	継続実施	A 2,946
	②宅地開発、道路、公園等の計画的な整備			○	-	C 1,108
	③中高層マンションの高さの制限		○		-	C 1,031
	④街路樹や植木の揃定			○	継続実施	D 920
	⑤スポーツ公園、犬の啓発運動公園等の整備			○	-	D 725
	⑥貼り紙のある電柱等の清掃と組織の拡充		○		継続実施	D 586
(3) ひと	①小、中、高生の非行防止、健全な育成		○		継続実施	A 2,425
	②生活マナーの向上運動の促進	○			継続実施	A 2,203
	③子供や高齢者への声掛け	○			継続実施	B 1,618
	④散策、地区の見回り等防犯施策の促進		○		継続実施	C 1,042
	⑤土、日の小学校の教室開放や施設の有効活用		○		継続実施	D 533
	⑥小学校の新設による学校区の再編			○	-	D 381
	⑦ラジオ体操、健康教室の開催	○			継続実施	D 379
(4) 歴史	①巡礼街道の舗装、休憩スポット等の設置			○	-	B 1,876
	②街道沿いの案内板、寺社の説明板の設置			○	-	B 1,728
	③古墳群の整備、顕彰			○	-	C 1,389
	④阪急中山駅周辺の門前町にふさわしい整備		○		継続実施	C 1,097
(5) 産業	①伝統的植木産業の保全・継承		○		継続実施	A 2,333
	②休耕田の花き、植木苗床等への有効活用		○		継続実施	B 1,621
	③植木のまちとしての“接ぎ木”的普及		○		継続実施	D 661
	④宝塚チェリー植栽の普及	○			継続実施	D 577

3. まとめ

1) まちづくりの基本目標・方針について

当地区のまちづくりの基本目標は“次世代に誇れる快適な環境のまち・長尾”とすることとした。この言葉の中には、まちづくりは、次世代に引き継ぐものとの考え方を含めるとともに、快適な環境とは何かとの検討の中で、郊外地である長尾地区の特性としての「都市」と「田園」が快適に共存すると言った考えが込められています。

この基本目標については、住民アンケート調査によって多くの賛同が得られています。また、この基本目標を達成するための基本方針として下記の5点を挙げています。

- ①「自然」：山や川を大切にし、自然と共生するまち
- ②「都市」：安全・安心、便利で快適環境のあるまち
- ③「ひと」：人にやさしいコミュニティのあるまち
- ④「歴史」：地区の歴史や文化をはぐくむまち
- ⑤「産業」：伝統的植木産業を継承するまち

このうち、①、②は「都市」と「田園」が共存する“田園都市”としての目標方針であり、③の「ひと」は“まち”にとって不可欠なまちづくりの中心的な要素と考えています。そして、④と⑤の「歴史」と「産業」は、長尾地区の“歴史的、伝統的特性”としてのことがらであり、これも長尾地区の個性あるまちづくりのために欠かせない要素としてその継承に重点的に取組むこととしています。

2) まちづくりの施策方針について

当地区まちづくりの目標を実現するための施策方針として、「まちの整備・誘導・活動計画」、「計画の推進方策」で述べています。

まちの整備・誘導・活動計画は、まちづくりの基本方針を実現するため、それぞれの方針ごとに福祉部会、花・緑・環境部会、文化・健康部会、青少年・人権部会の4部会で検討された主な意見を反映し、具体的な施策項目を挙げています。

計画の推進方策では、住民と行政の協働によるまちづくりを推進することを基本に、住民は、各種コミュニティ活動を、行政は、街・施設づくりを、行政と住民は、協働で仕組みづくり・ルールづくりを進めていくこととしています。そして、住民サイドの各種コミュニティ活動にあたっては、まちづくり協議会が中心となって、自治会等各種団体との連携、交流、役割分担をお願いし、まちづくり活動の展開を図る方針としています。

3) まちの整備・誘導・活動計画の実行プログラムについて

まちの整備・誘導・活動計画の施策別実行プログラムとしては「役割分担」と「推進プログラム」により示しています。

役割分担については、住民と行政と両者の協働に3区分し、「子供や高齢者への声かけ」

「生活マナーの向上運動の促進」「ラジオ体操、健康教室の開催」「宝塚チェリー植栽の普及」を住民の役割とし、「天神川等の堤防整備と水質浄化」「道路バリアフリー化等安全、安心のまちづくり」「巡礼街道の舗装、休憩スポット等の設置」等 25 項目中 10 項目を行政の役割、「ゴミ等で汚い河川の清掃と組織の設立」「中高層マンションの高さの制限」「小、中、高校生の非行防止と健全な育成」等 25 項目中 11 項目は住民と行政の協働の役割としています。

推進プログラムについては、施策項目別ごとの取組みの継続性とアンケート調査による得票数を住民の関心度・期待度を示す参考値として指標化しています。

継続実施の必要な項目としては「ゴミ等で汚い河川の清掃」「道路バリアフリー化等安全、安心のまちづくり」「貼紙のある電柱等の清掃と組織の拡充」「街路樹や植木の剪定」「子供や高齢者への声かけ」等 25 項目中 15 項目を挙げています。これらの課題は何時実行するのかと言うより、経常的な取組みが必要な課題としています。

参考値としてのアンケート調査結果の得票数の指標化については、2,000 票以上を A ランク、1,500 票～2,000 票未満を B ランク、1,000 票～1,500 票未満を C ランク、1,000 票未満を D ランクとし、A ランクとしては「ゴミで汚い河川の清掃と組織の設立」「道路のバリアフリー化等安全、安心のまちづくり」「小、中、高校生の非行防止と健全な育成」「生活マナーの向上運動の促進」「伝統的植木産業の保全、継承」の 5 項目が挙げられます。B ランクは「巡礼街道の舗装、休憩スポット等の設置」「街道沿いの案内板、寺社の説明板の設置」「休耕田の花き、植木苗床等への有効活用」等 6 項目が、C ランクには「宅地開発、道路、公園等の計画的な整備」「古墳群の整備、顕彰」「阪急中山駅周辺の門前町にふさわしい整備」等 5 項目が、D ランクとしては、「あいあいパークの木陰、自転車道の整備」「スポーツ公園、犬の啓発運動公園等の整備」等 9 項目が挙げられます。

なお、長尾地区まちづくり計画としてまちの整備・誘導・活動計画の項目別プログラムをこのように示しましたが、今後の具体的な実行にあたっては住民と行政により、まちづくり活動についてのキメ細かい話し合い、協議を継続して行うことが必要と考えています。

4. 參考資料

1)住民アンケート調査結果の概要

(1) 配布と回収結果

配布数 7,159 票の内、回収数は 4,492 票で、回収率は 62.7% でした。

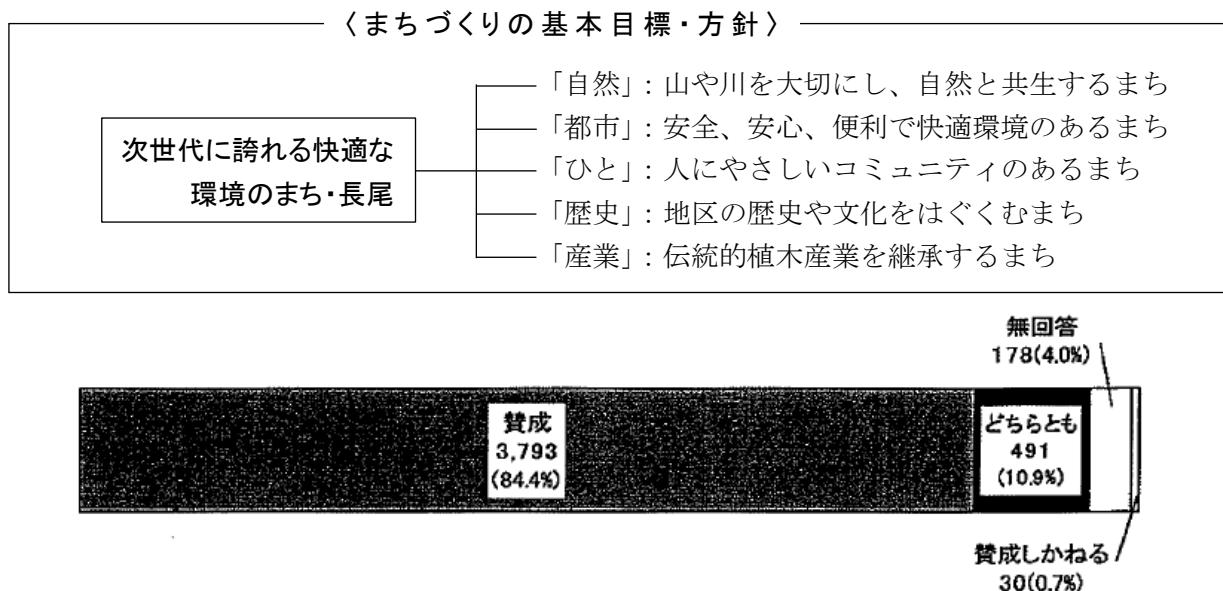
	票 数	比 率
回 取	4,492	62.7%
未回收	2,667	37.3%
配布数	7,159	100.0%

〈配布数 7,159〉



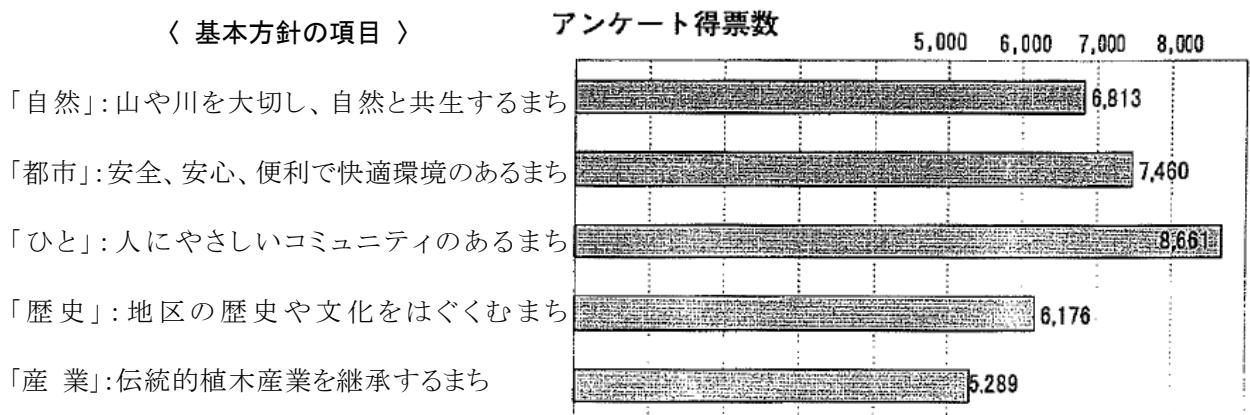
(2) まちづくりの基本目標・方針について

まちづくりの基本目標・方針については、4,492人中3,793人(84.4%)の賛同が得られました。



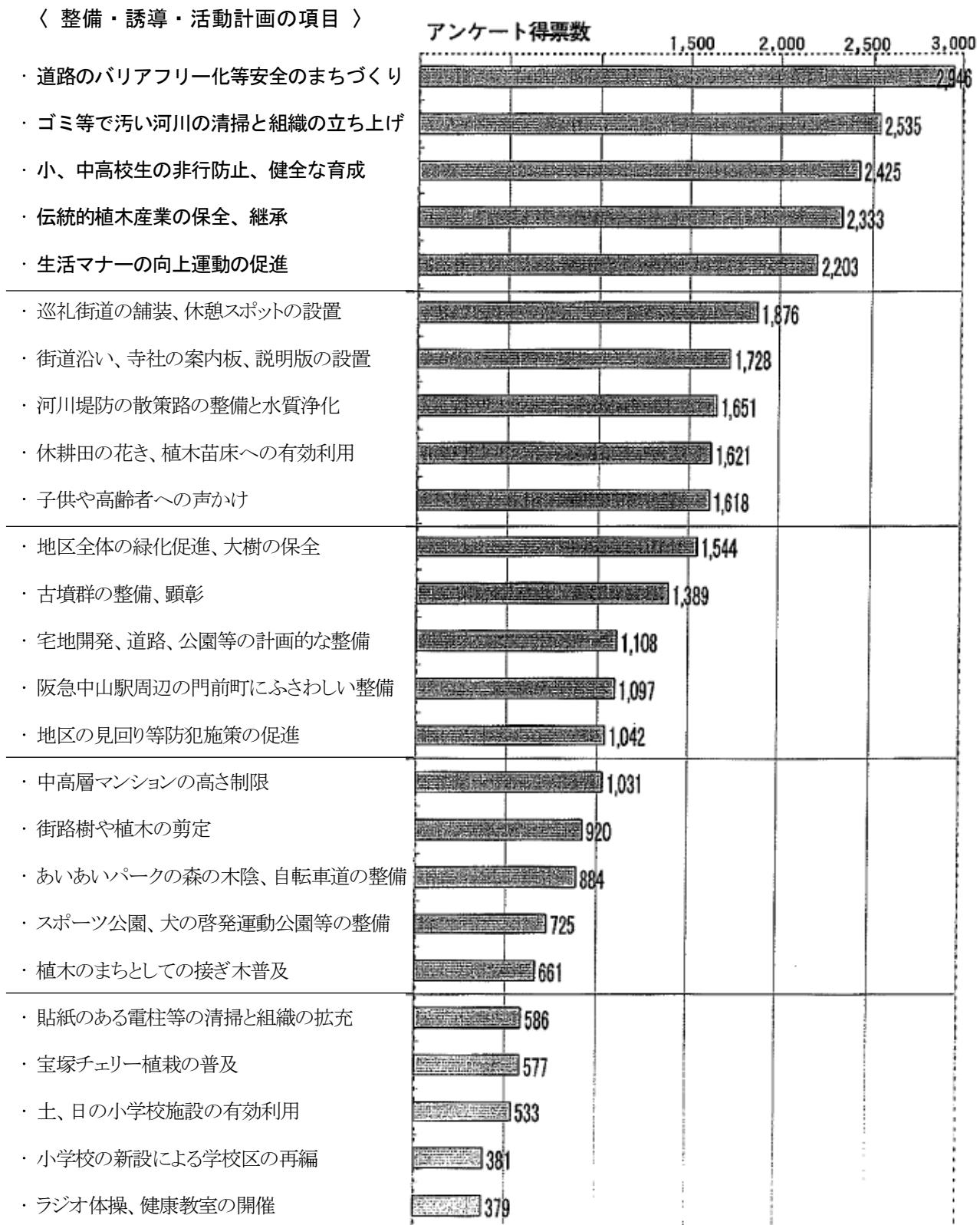
(3) まちづくりの基本方針について

5つのまちづくり基本方針についてのアンケート調査における項目ごとの得票数・関心度・期待度としては、「ひと」：人にやさしいコミュニティのあるまちが総得票数 8,661 で 1 位、次に「都市」：安全、安心、便利で快適環境のあるまちが 7,460 で 2 位、「自然」：山や川を大切にし、自然と共生するまちが 6,813 で 3 位でした。



(4) まちの整備・誘導・活動計画について

まちの整備・誘導・活動項目のアンケート調査結果における項目ごとの得票数・関心度・期待度としては、下図の通りであり、「道路のバリアフリー化等安全のまちづくり」が 2,946 票で 1 位、「ゴミ等で汚い河川の清掃と組織の設立」が 2,535 票で 2 位、「小、中、高校生の非行防止、健全な育成」が 2,425 票 3 位、そして「伝統的植木産業の保全、継承」と「生活マナーの向上運動の促進」が 2,200 票以上でベスト 5 でした。



2) アンケート調査結果における自由意見の要約

1. 「自然」に関すること

- ・山火事の防止対策と山林の定期的な伐採及び火事後の処理を望む。
- ・山や河川の自然を大切にし、自然との共生を図る。
- ・自然を残してほしい。自然に恵まれた環境を維持、活用してほしい。
- ・花と植木のまちのイメージを大切に、緑豊かであることを大切にしたい。
- ・自然豊かな環境の中で、子供達の成長や心豊かな人間になることを望む。
- ・昔のように、生物(ホタル、ザリガニ、ウグイス、魚 等)や植物が生息、繁殖するまちを望む。
- ・自然を感じるような河川やため池周りの整備を希望。堤防での畠の使用をなくす。

2. 「都市」に関すること

- ・都市計画用途地域の見直し、現在違法建築の取締り。
- ・舗装ばかりでなく自然のままの地道も残してほしい。
- ・中国道等高架下の有効活用（公園、駐車場 等）
- ・抜け道の防止、ハンプの設置。
- ・昔からの家屋や建物の保存に力をいれる。
- ・アトム 110 番の確認（留守がち、安全かどうか。）と交番の設置。
- ・開発業者への環境重視の開発指導をしてほしい。
- ・商業施設の立地の抑制。
- ・駐車場の確保。

① 道路、交通に関すること

- ・交通機関等が乏しく不便と感じている。交通網の整備を希望する。
- ・交通量の増加、道路の問題等があり、交通渋滞が多く見られる。安全対策が深刻な問題。
- ・阪急電車の高架や新駅の設置の要望。
- ・バスの運行経路の見直しや増発の要望。ワンコインバスの検討。
- ・段差のない道、デコボコ等のないようにバリアフリーにも力をいれてほしい。
- ・危険や渋滞のない道路の整備を要望。
- ・歩道の確保（歩車分離の道路）と通学路の安全性について。
- ・道路の拡幅整備と行き止まりの道路の解消について。
- ・道路標識や看板等の設置について。
- ・道路の舗装について。
- ・信号の設置、横断歩道、歩道橋について。
- ・路肩の溝に蓋をしてほしい。
- ・道路際の見通しの悪い木を切ってほしい。

② 安全、防災に関するこ

- ・治安の悪化等に伴う防犯対策を行い、安全、安心して暮らせるまちを望む。
- ・街灯の増設ともう少し照度を明るくしてほしい。
- ・防災や災害時に備えた避難場所をつくる。
- ・地域等での安全パトロールを行う必要性。

③ 開発に関するこ

- ・計画的な開発を要望する。
- ・マンションの乱開発をやめてほしい。自然がなくなるのが残念。

- ・マンション等の建設に際して規制や制限を考えてほしい。また、今までにある規制等の見直しも必要。地域全体で検討できるようにしてほしい。
- ・現在の開発の状態は自然と共生するまちとはいえないと思う。自然環境を大切に保存すべき。
- ・中山寺の周辺の活気に期待。

④ 公園、施設に関すること

- ・皆の憩える、子供達がのびのび遊べる公園やスポーツグラウンドなどを作つてほしい。
- ・遊具のある公園、特徴のある公園を作つてほしい。又、古い公園の整備。
- ・ありきたりの公園でなく原っぱも大切な遊び場。遊び場の確保を。
- ・ウォーキングが楽しめる場所や高齢者の事も考えた公園やグラウンドを作つてほしい。
- ・公共施設等の駐車場や駐輪場がほしい。
- ・公園の整備、清掃を。
- ・図書館、児童館、交番、銀行等の施設がほしい。
- ・飲食店や、スーパー、雑貨店等を増やしてほしい。

3. 「ひと」に関するこ

- ・コミュニティ行事に参加することが苦痛にならない地域の人材ボランティア
- ・子供たちと大人（高齢者）たちが一緒になり、一つのことを行うこと。
- ・ボランティア体験を、教育、生活の場に取り入れる。
- ・ハイキング、参拝者へのマナーの呼びかけ

① コミュニティに関するこ

- ・マナーを守り、“出会ったら挨拶をする。”という一番原点の声かけを行っていくことが大切。
- ・昔から居住の方と新しく居住された方の共有の取組み、交流が大切。
- ・コミュニケーションの場や機会が必要。
- ・地区の皆で協力していく気持ちが大切。また、組織の整理も必要。
- ・「情」、ふれあい、助け合い…を思いだしたい。

② まちづくりに関するこ

- ・まちづくりは人づくりであると考える。
- ・まちづくりへの希望、期待（快適な、活気のある、子供・老人・弱者に優しい、きれいな）。
- ・住民主導で行政も協力していく形のまちづくりやまちづくりへの参画について。
- ・実行可能なことから実現していく。特徴のあるまちづくりを希望。
- ・まちづくり協議会の活動やまちづくり計画についてしらなかつた。広報等を希望。

③ 学校、教育に関するこ

- ・ひったくりの増加等の少年の非行が起こらないよう真剣に考えていく必要性。
- ・人口増加による学校等の新設や公立教育機関の充実。
- ・小学校を開放し皆が集える場所にしてほしい。
- ・子供と大人のコミュニケーション、道徳教育の重要性。
- ・学校区の再編を希望。

④ 広報、企画等について

- ・一部の人だけの参加ではなく、皆で参加取り組みができるように。
- ・誰もが参加できる行事やそれに伴う広報の希望。（祭り、呼び込める企画）
- ・まちづくり協議会の活動がよくわからない。PRと他団体との連携が必要。

⑤ マナー、福祉等について

- ・モラルの低下。
- ・福祉に力をいれてほしい。
- ・入山者の管理が必要。
- ・ゴミの不法投棄、ポイ捨て等について。
- ・ゴミステーションの清掃について。
- ・ゴミの意識問題と大型ゴミの回収の再開希望。
- ・迷惑駐車、駐輪について。
- ・ペットを飼っている人のマナーについて。

4. 「歴史」に関すること

- ・地域にあった歴史、文化財の明確化と住民への周知、保全活動の推進
- ・各駅に少し詳しい地図やパンフを置く。
- ・子供達に地元の歴史や文化を伝える講座を開く。
- ・古墳整備。
- ・巡礼街道等の知名度を上げるために看板や標識等をたてる。

5. 「産業」に関すること

- ・植木の垣根を植える時に助成金を出してほしい。
- ・ボランティアを募集し、無農薬野菜等を作り、地元で販売をしてはどうか。

① 歴史、伝統等について

- ・伝統産業の継承、“植木のまち”をなくさないように。
- ・植木産業に盛り込み、花木園芸等、他へもPRしていく。
- ・大きな木を残す。緑いっぱいのまちであるように。
- ・休耕田を市民に開放してほしい。

② 植木について

- ・街路樹を増やしてほしい。（宝塚チャリ-の植栽等）。
- ・植木とみどりの維持と促進。
- ・植木の手入れ、植木を刈った後始末が高くつく。

6. その他意見、感想等

- ・高齢化した人々が病気になったりしたときに、新潟県長岡市のような中高年用の一つのニュータウンをつくってはどうか。
- ・長尾小の急速な人口増に歯止めをかける方策を。
- ・歌劇のまち、宝塚を守れ！
- ・流通組織の整備と情報の共有化を可能にするシステムが必要。
- ・樹林等土地保有者の維持・継続のための公的援助、固定資産税の軽減等。
- ・希望（具体的なスケジュールや、実現できることから。）
- ・アンケートについて（市民の意識向上、計画だけに終わらないで）。
- ・行政に関する意見、税金などについて。
- ・まちづくり協議会の役員に対する感謝等。
- ・いろいろな行事への参画、意欲。

3) 長尾地区住民まちづくり活動の軌跡

長尾地区まちづくり協議会は平成 8 年 7 月に発足して以来 9 年、3 つの小学校区にまたがる大規模コミュニティとして活動を展開してきました。福祉、花・緑・環境、文化・健康、青少年・人権、スポーツ振興の 5 部会それぞれに地域活動の活性化、住民相互の交流の中心的役割を果たし、着実に活動の輪を広げています。また、協議会自体の活動のほか、地区内各自治会、ボードながお、山本山美会などの諸グループの活動実績も含め、主なものをここに紹介しますが、これらの諸活動によって培われた体験と実績が、今回提案するまちづくり計画の基礎となっていることを十分ご理解いただきたい。

(1) 生活・環境のまちづくり

① 回遊散策路の提唱

平成 12 年 3 月 17 日開催の地域創造会議の場で、住民提案として市に提出。長尾地域に古くからある「巡礼街道」「京・伏見街道」「丹波街道」の 3 古道を結び、住民の散策路として、また家族団欒の憩いの場、長尾地区の観光ハイキングスポットとして整備計画をまとめた。統一した道標や案内板の設置、トイレ、休憩場所の整備などを提案している。

平成 15 年 3 月には住民手作りのマップ「長尾のみちを歩く」(A3 版、2 色刷り) を発行、幅広く利用されている。

② 国道 176 号バイパスはじめ、地区の環境整備、清掃の活動

国道 176 号バイパスのごみ収集、清掃活動を毎年 3 月に実施。ほかに、最明寺川の清掃。長尾山系の山火事防止啓発看板の設置などの環境浄化と森林保護活動の継続。

③ 天神川・川づくり整備活動

宝塚市土木部水政課の主導で、まちづくり協議会、山本自治会沿川住民、山本山美会、ボードながお、その他で構成する準備委員会で天神川アメニティ整備計画を 6 度にわたって検討、堤防の遊歩道整備計画がまとまり、平成 16 年 11 月から同 18 年度にかけて整備工事が開始される。完成後の維持管理など、住民参加を今後も推進していく。

また、今後、国道 176 号拡幅、歩道整備工事の完成をまって、あいあいパークと伊丹荒牧バラ公園を結ぶ、国道 176 号・天神川遊歩道の整備を目指している。

④ オープンガーデンフェスタ

平成 13 年、あいあいパーク花と緑のまちづくりワークショップから提唱、山本山美会、ボードながおが中心となってスタート、山本地区の活性化、植木産業の振興を願って、地区造園業、一般家庭が参加、オープンガーデンを開く。現在では、参加者の範囲も宝塚全市域に広がり、盛況を極めている。平成 16 年度に開催した、宝塚まちなみ GARDENFESTA2004 では 204 件の参加があった。

⑤ 宝塚チェリー植樹活動

山本山美会、ボードながおで組織する宝塚チェリー会が進めている環境浄化木「宝塚チェリー（ヒマラヤサクラ）」の植樹推進活動。1鉢運動から始めた植樹は6年目になり、長尾地域で300本を越える。宝塚チェリー山本散策マップを発行し、育て方や緑の大切さを環境面から啓発している。

⑥ 違法広告物除却運動

グループ「もえぎ」の中心行事。宝塚市の委託を受けて、電柱等の違法広告物の除却活動を毎月実施、道路環境の浄化を進めている。

(2) ふれあいと福祉のまちづくり

① ふれあいコミュニティ長尾の集い

まちづくり協議会が主催し、山本新池公園で開く秋の中心行事。平成12年10月に第1回を開催。住民相互のふれあいと世代を超えた交流の場として、お茶会、ミニミニ運動会、各種物販、もの作り教室、ニュースポーツなど内容も多岐にわたる。

② 中筋しだれ桜茶会

樹齢50年を超えるしだれ桜の巨木の観桜茶会。4月上旬に花・緑・環境部会の主催で開く。市外、地区外からの観客も多く、協議会年度当初の主要行事である。

③ ほっとほっとライブ

ボランティアライブグループ・チルドレン支援、地区内小学校の音楽部活動支援のイベント。毎年8月に開催、音楽を通じた地域と児童・青少年の交流が目的。

④ 子育て活動

若い母親を対象にした地域の子育て、家庭の子育ての対話と交流を図る支援活動。

◎親子ひろば：福祉部会を中心に住民の子育て終了世代が子育て中の世代を支援。親子でほっとできる地域の憩いの場。毎週水曜日開催。

◎子育て講話会：平成12年11月に第1回を開催。幼稚園長、保育園長を講師に、今日的な課題をテーマに幼児の母親との交流を図っている。

⑤ 高齢者支援活動

いきいきサロン活動

◎すずめさるん：平成11年8月にスタート、中山寺会館、中筋会館で毎月25日に定期的に開催。高齢者を中心に話し合いの場として、仲間づくりの場となっている。

◎サロンタンポポ：平成12年9月に長尾南会館で第1回を開催。すずめさるん同様、地域の高齢者の憩いの場。

⑥ 定年退職者対象地域活動

リタイア組まれ「もえぎ」グループが誕生。社会生活を卒業した人たちに地域活動参加を呼び掛け、活動の場を提供する支援行事。現在、定例集会のほか、違法広告物除却活動、パソコン教室、交流の場「お楽しみクラブ」を定期的に開催。

⑦ 介護技術講習会

家庭での介護の基礎知識と技術を学習する講習会。年間 4 回開催を計画、介護のコツを実習しながら身につけることが出来る。

⑧ 介護支援活動

平成 15 年 9 月、介護者ラウンドテーブルを発足。自宅介護経験者、介護まつ最中の者、いつか介護にかかる者が集まって話しあう場。

⑨ 講演会活動

- ◎高齢者に知ってほしい医療と健康講座を継続的に開催。医師を講師に招き、住民へ健康寿命を延ばすための高齢者医療の指導、啓発を進めている。
- ◎長尾地区の歴史・その他文化講演。

(3) 健康・スポーツのまちづくり

① スポーツクラブ 21 ひょうご関連活動

兵庫県支援事業。地域スポーツクラブ 21 ひょうごの主導による参加型市民スポーツクラブ組織。平成 15 年 7 月に長尾南小校区でスタート。さらに平成 16 年 11 月に長尾小校区、丸橋小校区で発足する。今後、3 クラブ交流による多角的なスポーツ活動を展開する。

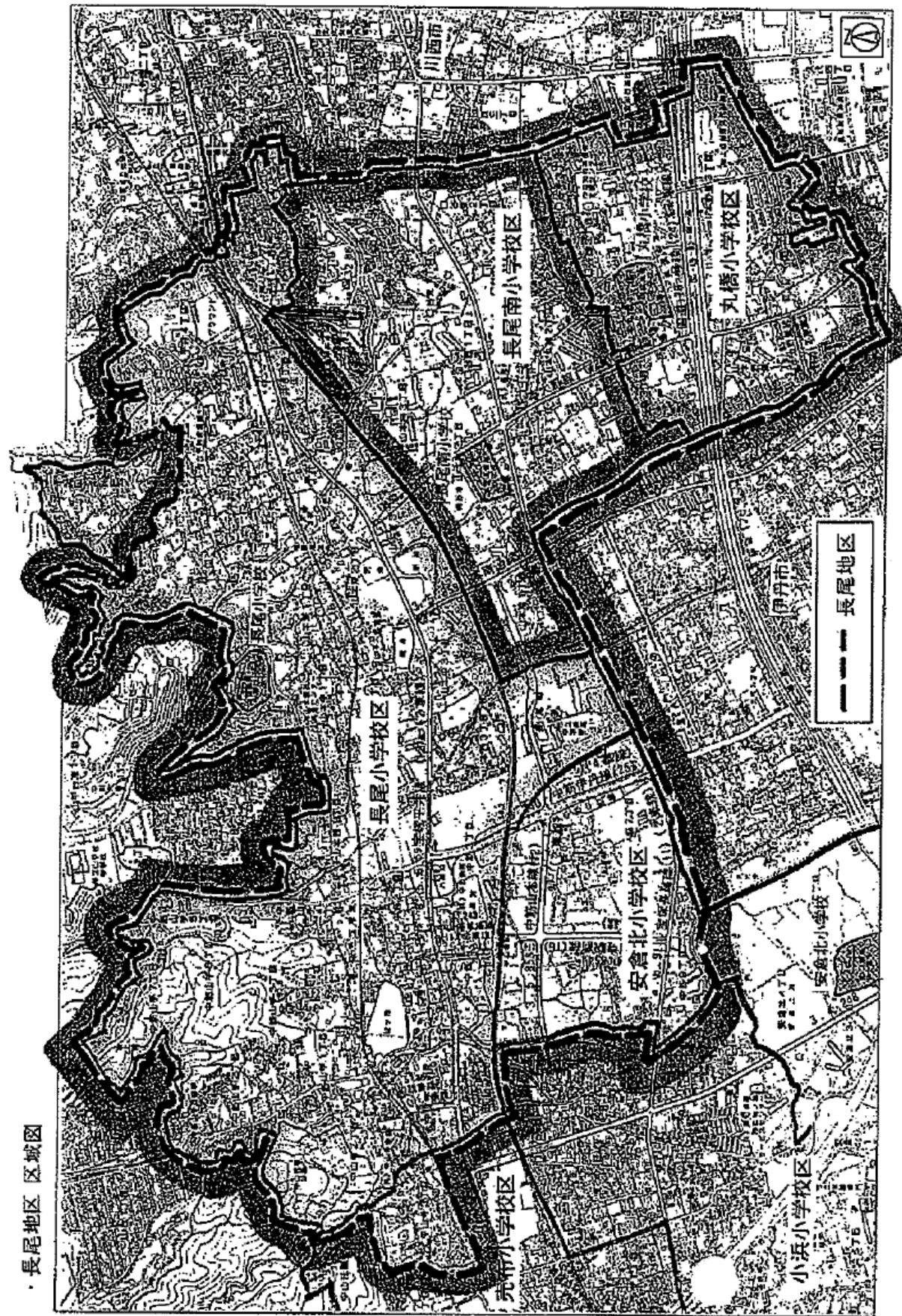
② ふれあい日曜歩こう会

文化・健康部会が主催、平成 9 年 1 月に第 1 回を実施して以来、今年 11 月で 57 回を数えている。毎回 20~60 名の参加があり、宝塚周辺のほか、遠く奈良、京都方面にまで里山歩き、名所探訪を展開。住民の健康づくり、住民交流を進めている。

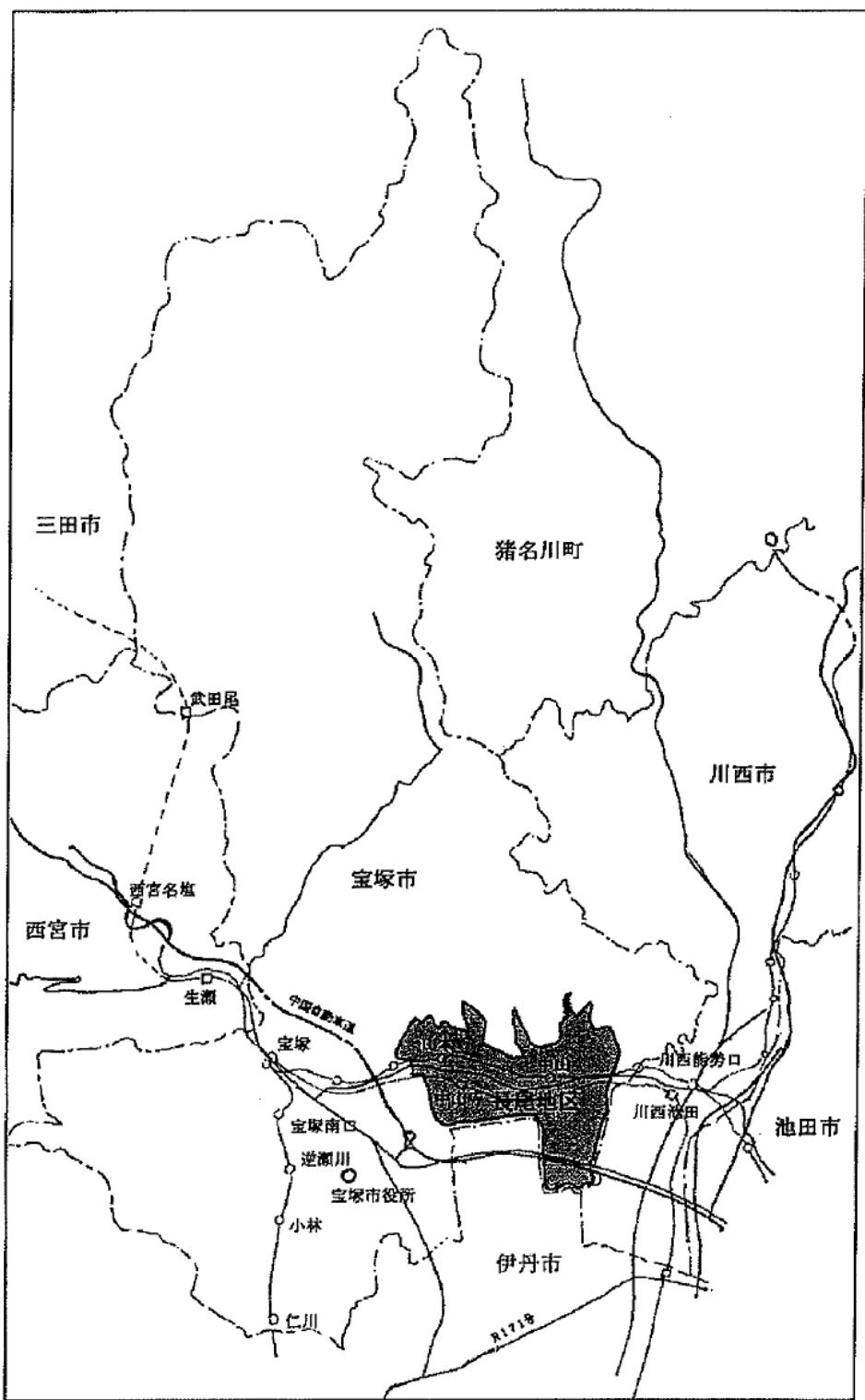
③ 地区密着型健康教室

文化・健康部会主催、健康センターの協力を得、地区内各自治会館、集会所で健康体操などを開催。

・長尾地区 区域図



・位置図



(ふれあいコミュニティ長尾)

作成：長尾地区まちづくり協議会／平成16年12月